



# PKIを用いた認証強化実験

社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター  
技術部／インターネット基盤企画部  
セキュリティ事業担当  
木村 泰司

- PKIを用いた認証強化実験の紹介
  - IPレジストリシステムにおけるSSLの「クライアント証明書」を使った認証
  
  - ポイント
    1. 希望される方にIPレジストリシステムのログインに使える電子証明書を発行いたします。
    2. 継続してパスワードを使うこともできます。
    3. 本日の資料をお持ち帰り下さい。
      - 情報の入手元URL
      - JPNICルート認証局のfingerprint


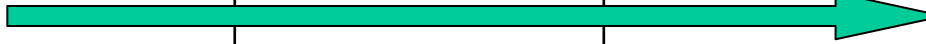
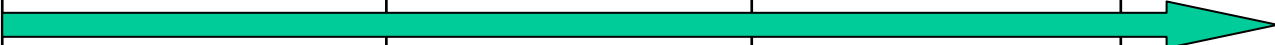
## 内容

- 実験の背景
- IPレジストリシステムにおける認証強化実験
- 電子証明書と利用例
- 電子証明書の申請方法

## 背景

- 前回のOPMでの発表
  - 「JPNICにおけるレジストリデータの保護と応用の考え方について」 2004年12月
    - a. JPNIC認証局の構築
    - b. IPレジストリシステムの保護機能の実現
    - c. レジストリデータを使った認証基盤に関する調査
  - このうち、aとbが構築済み ⇒ 今回の実験  
cは継続して取り組み中。

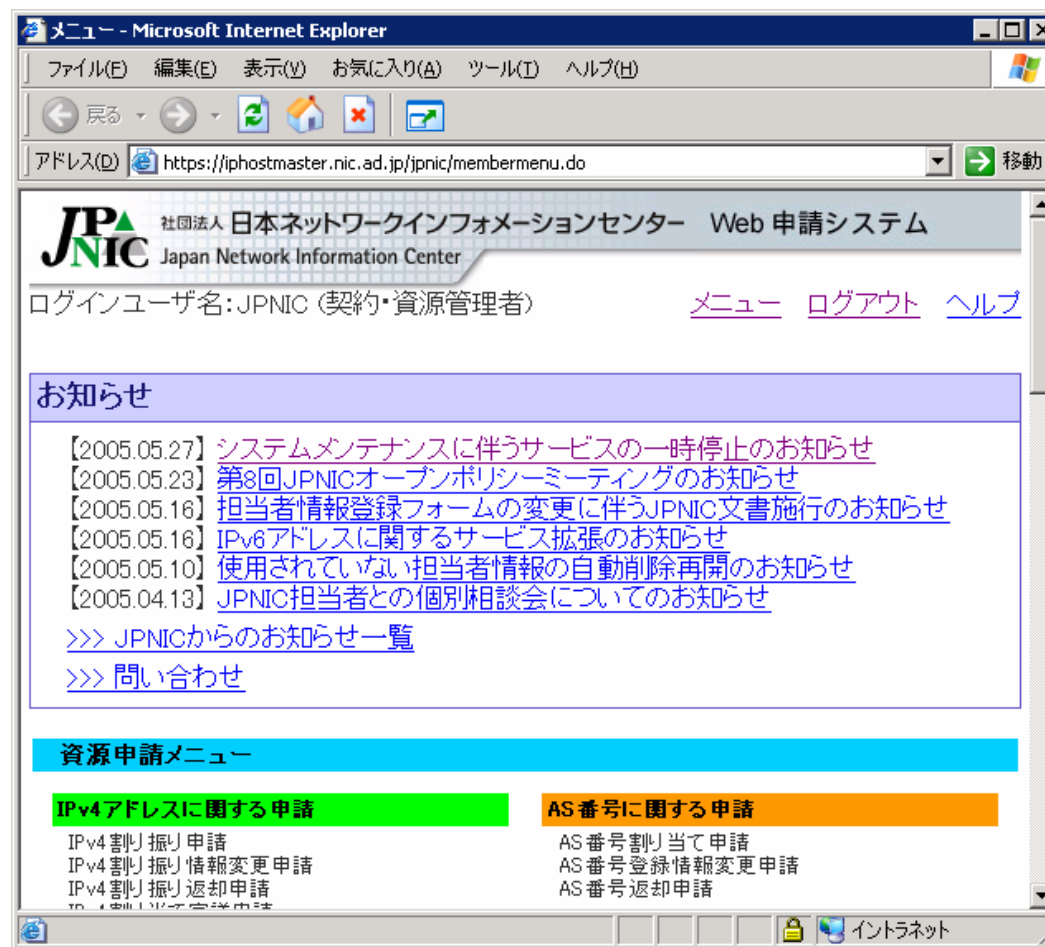
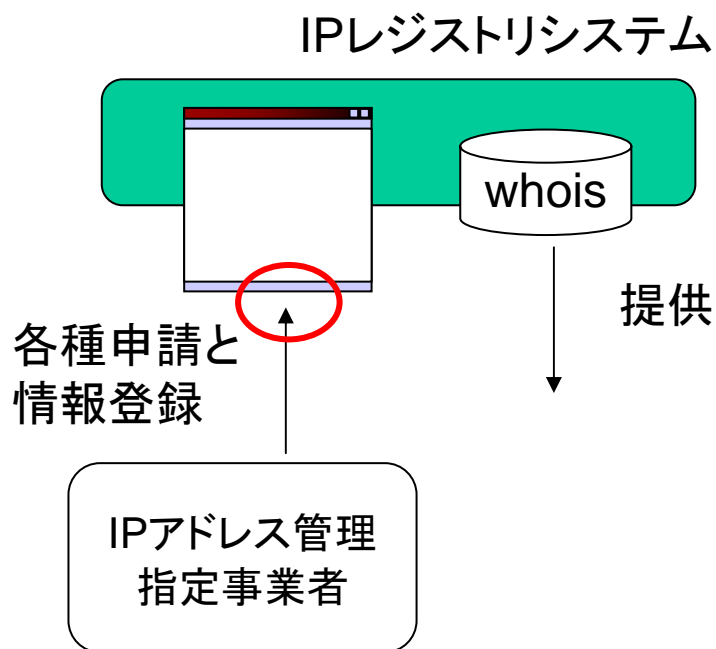
# 実験のスケジュール

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
2004 <sup>th</sup>			認証局構築 a, b  前回のOPM ★	
2005 <sup>th</sup>		電子証明書の実験  今回のOPM ★		
2006 <sup>th</sup>	電子証明書の実験(状況に応じて継続) 			

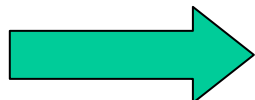


# IPレジストリシステムにおける 認証強化実験

- 各種申請と情報登録の為のシステム



- パスワード
  - 利点
    - 仕組みがわかりやすい
    - 作業の委任が簡単
  - 欠点
    - 第三者に漏洩してもわからない
    - 担当者が変わった時の変更の手間がかかる  
又は変更しない...



パスワードには慎重な管理が必要



- IP Hijacking
    - Hijacked IPs  
<http://www.completewhois.com/hijacked/index.htm>
  - whoisの返答内容の改ざん
    - IPネットワークアドレスの登録
    - ネームサーバの情報
    - 管理者連絡窓口、技術連絡担当者
- ⇒ 不正な経路情報の発見などにも影響

**IPレジストリシステムの認証強化の実験**

# RIRにおける認証強化

- APNIC
  - 個人認証を行い電子証明書を発行
  - MyAPNIC (LIR向けWebページ) で使用
- RIPE NCC
  - LIR認証を行い電子証明書を発行
  - LIRPortal (LIR向けWebページ) で使用
- ARIN
  - LIR認証と個人認証を行い電子証明書を発行
  - 申請書のメールに電子署名

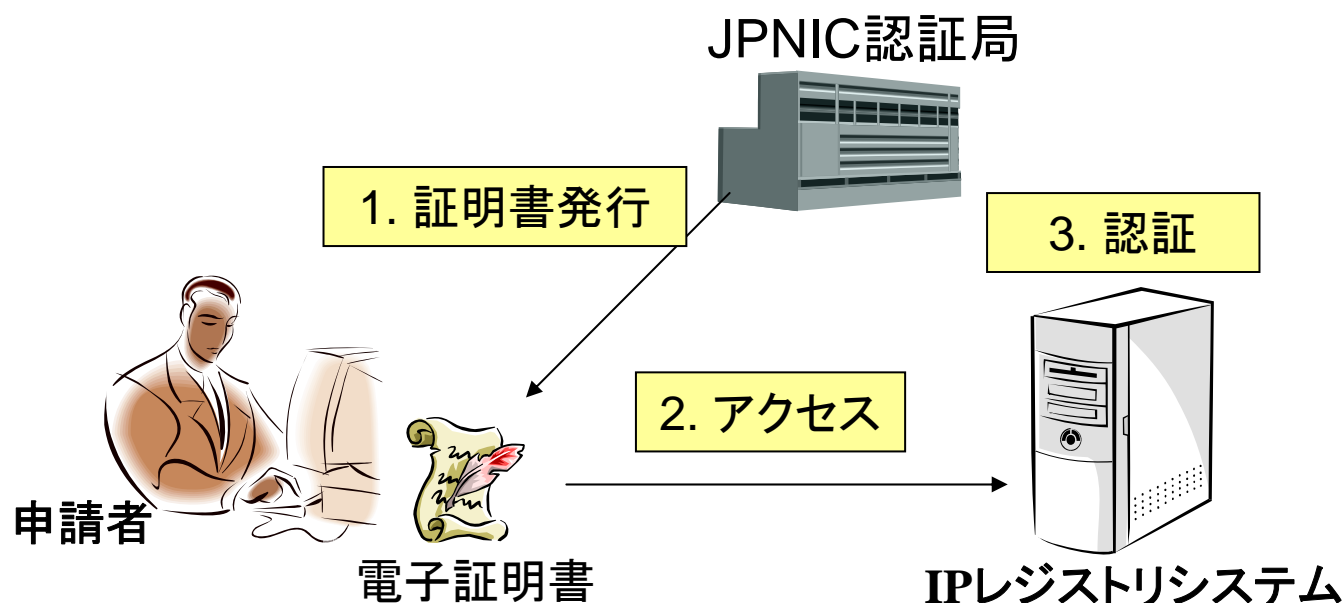


# 電子証明書と利用例

# PKIと電子証明書

- PKI (Public-Key Infrastructure) の「電子証明書」を使ったユーザの認証

## JPNICにおける電子証明書の利用例



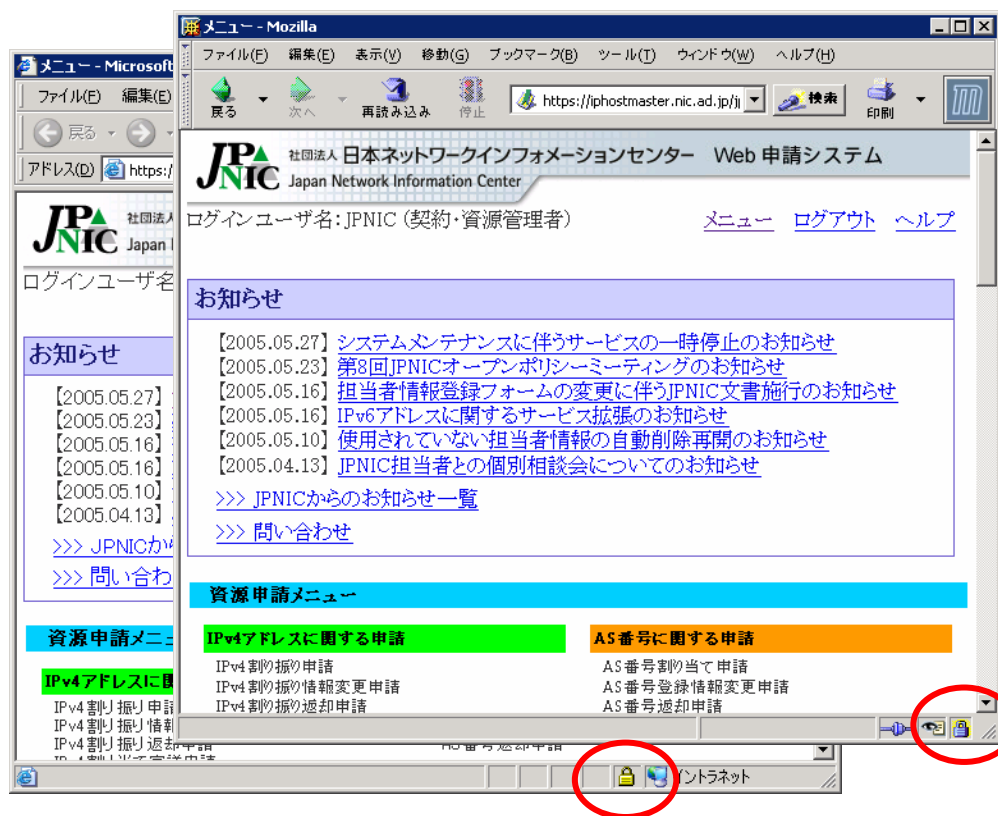
パスワードではなく電子証明書で認証

## 電子証明書とは

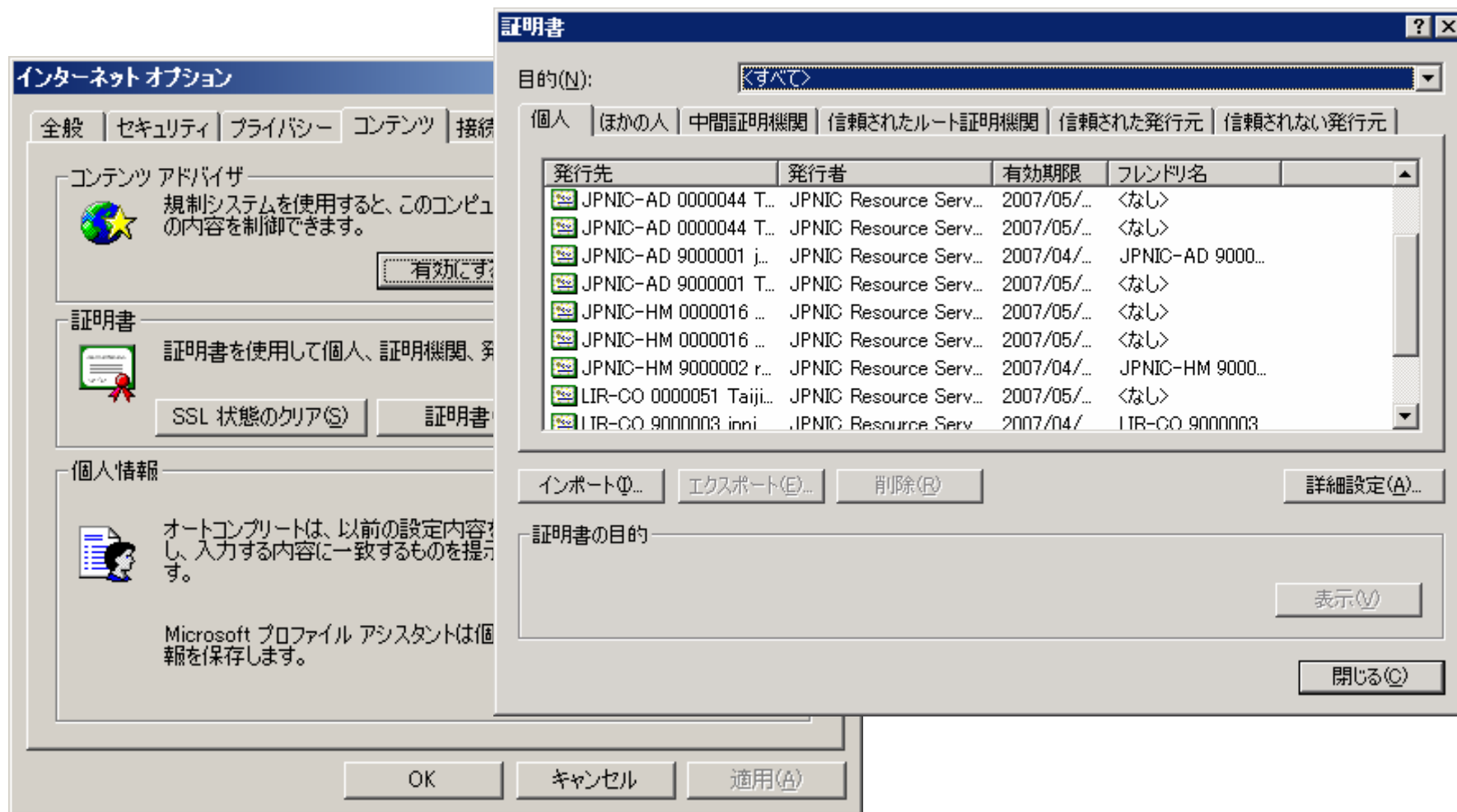
- パスワードに比べて優れているところ
  - 暗号技術を使った認証
    - 通信路を盗聴しても内容が分からない、なりすましが難しい
  - 漏洩対策
    - 「電子証明書」と「パスフレーズ」の二要素
      - パスワードの場合は一要素の盗用だけでなりすましができてしまう。

- SSLのクライアント認証

- サーバとクライアントで相互に認証(なりすましを検出)
- 暗号通信(通信路の盗聴が難しい)



- Webブラウザに組み込んで利用



- IPレジストリシステムのログイン画面

## パスワードの場合

ログイン

資源管理者ID(指定事業者ID)とパスワードを入力して、ログインボタンをクリックしてください

ID:

パスワード:

## 電子証明書の場合

パスフレーズを入力





社団法人 日本ネットワークイン  
Japan Network Information Cent

ログインユーザ名: JPNIC (契約・資源管理者)

トップページに直接アクセス

認証方法が変わるだけで、各種申請業務は通常通りです。





# 電子証明書の申請方法

## 電子証明書の利用者(1)

- 契約／資源管理者
  - IP指定事業者の「契約情報」「資源管理情報」を管理
    - IPアドレス資源関連の申請は不可
    - 資源管理者の証明書 発行・失効・更新 申請
  
- 資源申請者
  - IPアドレス資源関連の申請などができる

# 電子証明書ユーザ(2)

- 電子証明書の申請方法の違い

● 契約／資源管理者 → 書面で申請

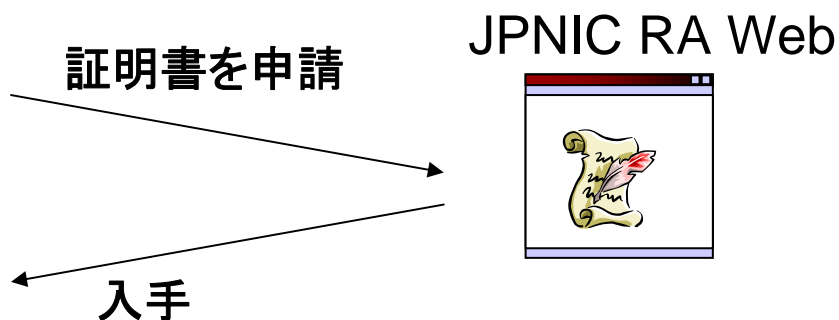
● 資源申請者 → 契約／資源管理者が "JPNIC RA Web" を使って申請

- 資源申請者の申請方法

資源申請者の証明書管理が可能

● 契約／資源管理者

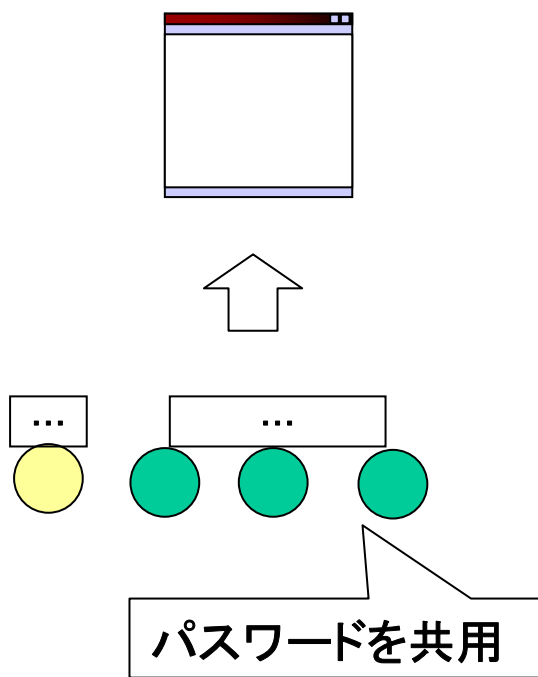
● 資源申請者



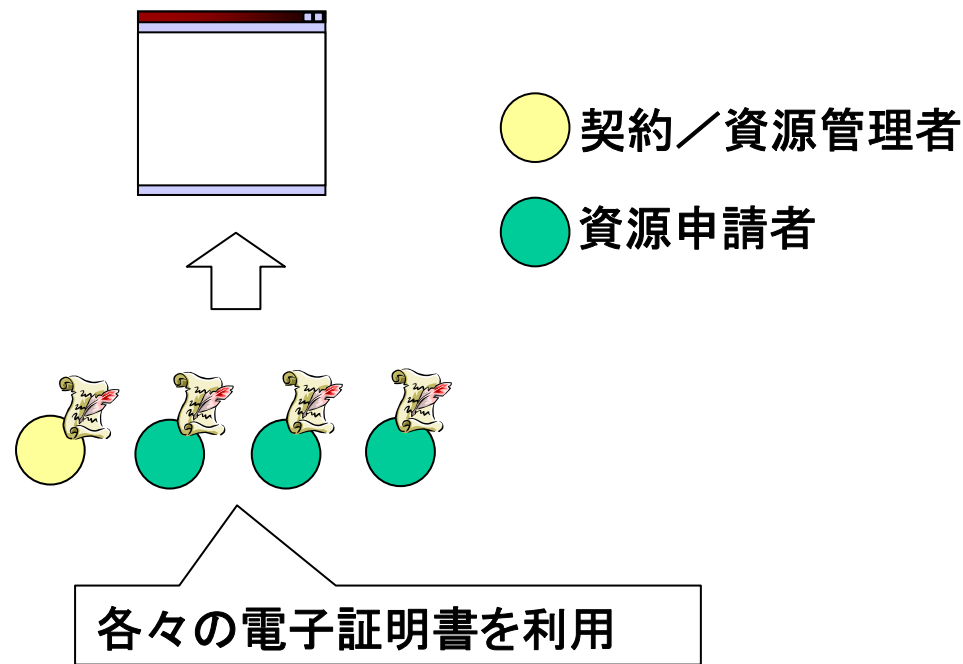
# 電子証明書の利用者(3)

- ログイン時のパスワードとの違い
  - 各々の申請者が別々の電子証明書を利用

パスワードを使う場合



電子証明書を使う場合



- IPレジストリシステムにおけるSSLの「クライアント証明書」を使った認証
  - 今回の実験参加の対象はIP指定事業者です。
  - ご参加をお待ちしております。
- JPNIC認証局のWebページ
  - <http://jpnica.nic.ad.jp/>
- 証明書の利用上の各種お問い合わせ
  - [ca-query@nic.ad.jp](mailto:ca-query@nic.ad.jp)



ご静聴ありがとうございました。

社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター  
木村 泰司



# 資料編

- JPNIC Root Certification Authority
  - SHA-1  
ce89 1399 5cd0 b1a4 39de b455 2628 9ce1 fe85 af1e
  - MD5  
8A:79:EE:FE:5A:2D:FD:4A:6F:4E:8C:92:31:5F:DB:A1
- JPNIC Resource Service Certification Authority
  - SHA-1  
ab46 e8be cfde 1162 11df 4def 7cd3 d541 786f c68e
  - MD5  
92:57:25:96:17:3A:D9:DC:AA:38:38:7C:39:2E:59:9D



- 電子証明書を使って割り当て報告のバッチ転送ができる機能を提供予定
  - https を使ったトランザクション
  - SSLの相互認証
  - マニュアル、サンプルコード提供予定
- 詳しくはJPNIC認証局のWebページをご覧ください。